

# 2021年1月15日 読売新聞 コロナ病床全体の2.4%

## 大阪・兵庫・京都

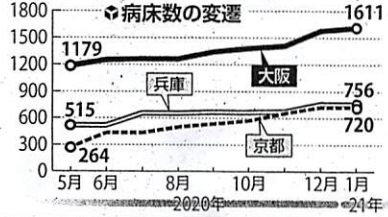
関西3府県別の病床数や新型コロナウイルス確保病床数など

	大阪	京都	兵庫
病院数	513	163	347
病床数	10万4827	3万3085	6万4195
うち一般病床	6万5535	2万2655	3万9334
新型コロナウイルス受け入れ病院数	99	33	55
確保病床数	1611	720	756
うち重症用	236	86	116
うち軽症・中等症用	1375	634	640
病床利用率(%)	70.5	37.9	77.9

■6割超が公立  
3府県の病院数は計1023で、その総病床は約2万2000床。うち精神疾患に対応する「精神病床」

※厚生労働省の調査などを基に作成。病院数と病床数は昨年9月時点。新型コロナウイルスの受け入れ態勢は17日時点。病床利用率は16日時点。

新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が発令された大阪・兵庫、京都の3府県で、病床の確保が課題となっている。3府県の一般病床は約12万8000床だが、コロナ用に使われているのは2.4%。大阪・兵庫では病床利用率が70%を超え、増床への協力を病院に求めているが、思うようには進んでいない。(村上和史、山本美葉子)

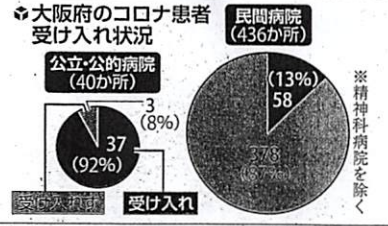


■一般的に使用中の病床は常時7・8割とされる。1%以下の割合が低い。

3府県がコロナ用に確保している病床数は大阪が1611床、京都が720床、兵庫県が756床で、計3087床。一般病床のうち2.4%だ。全国平均の3.1%より割合が低い。

# 公立に偏り、増床進まず

新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が発令された大阪・兵庫、京都の3府県で、病床の確保が課題となっている。3府県の一般病床は約12万8000床だが、コロナ用に使われているのは2.4%。大阪・兵庫では病床利用率が70%を超え、増床への協力を病院に求めているが、思うようには進んでいない。(村上和史、山本美葉子)



■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

■民間病院の協力や自治体は、民間病院の協力を募るため様々な補助メニューを用意している。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

# 改修費、院内感染、風評... ためらう民間

コロナ患者を受け入れていない民間病院はそれぞれ事情を訴える。

大阪市内にある約2000床の病床を持つ民間の2次救急病院の担当者は「施設が古く、患者を受け入れるには大規模改修が必要。補助があっても経営への負担が大きい」と説明する。

病院は築30年以上で、コロナ患者とそれ以外の患者の動線が分けにくい。今も発熱患者は院外のテントで対応しており、受け入れるなら多額の改修費が必要

初目標だった1615床をほぼ確保したが、1月から感染が急拡大した。さらなる増床の見通しは全くない。民間の見通しは全く異なる。民間の見通しは全く異なる。民間の見通しは全く異なる。

大阪府は、これまで別に、1床につき1000万円を支給。大阪府は新たに患者を受け入れてくれる病院に3000万円を支給する。こうした施策もあり、春から病床は増えてきているが、まだ十分ではない。

白鷗大学WEBフォーラム

きたやまおさむと語る「危機と日本人」

全3回シリーズ

ライブ配信 (視聴無料)

2/7(日) 15:00~16:30

第3回テーマ

日本人の心と未来

田中 優子 (江戸文化研究者)

全3回シリーズの最終回。きたやまおさむがお送りする、トークと対談の90分。視聴者からの質問にも、時間の限りお答えします。

白鷗大学 HAKUOH UNIVERSITY